

【北海道のがんの概要】

1. 北海道がん登録 2016 年報告書に関して

精度と届出

2016 年症例より「全国がん登録」へ移行され、2016 年以降に「がん」と診断された症例については、病院等に届出義務が課せられた結果、届出件数については約 1.2 倍となっている。(2015 年症例では約 45,000 件の届出に対し、2016 年症例は約 54,000 件の届出があり、約 9,000 件増加となっている。)

2016 年症例以前から届出件数は増加傾向であり、ここ数年精度指標が大幅に改善されている。

「がん登録」の特性として、遅れた届出が追加されたり、亡くなった患者の情報が遡り調査にて補完されるなどして古い年のデータが蓄積されていく。

報告書作成時の確定されたデータを「全国がん登録データベース」より抽出し作成しているが、上記の通り、古いデータが日々蓄積及び更新されていくため、後にデータを利用する際に、今回の報告書と件数に違いがみられることも考えられ、こうした現象を認識しておく必要がある。

2016 年報告書の特徴

今回は『全国がん登録』へ移行し、初めての報告書作成となる。『全国がん登録』へ移行したことにより、全国との比較が容易となったことは大きなメリットである。

しかし単年のデータによる評価だけではなく、今後報告されるデータと比較することにより、北海道のがん状況がより明確になると考えられる。

そのためにはより精度の高い情報をデータベース化し、継続した評価が必要であり、この報告書も状況に応じて報告形式を見直していく予定としている。

2016 年報告書では、「二次医療圏別初診病院受療動向」を報告している。この表により、どこの医療圏に住んでいる人がどこの医療圏へ受診しているかの動向が確認できるようになった。

また北海道は他都府県より二次医療圏が多いため、独自に「医療圏部位別年齢調整罹患率・死亡率」を北海道地図により視覚的に見やすいように作成している。

更に2016年報告書より「小児・AYA世代」の集計を報告しており、今後の報告書へ継続して掲載していく予定である。

※「二次医療圏別初診病院受療割合」はp37 ページに掲載

※「二次医療圏部位別年齢調整罹患率・死亡率」はp38 ページより掲載

※「小児・AYA 世代(小児がん及び若年成人)がん集計概要」はp46 ページより掲載

2. 北海道のがん登録の概要

集計期間

罹患年月日が平成 28(2016 年)年 1 月 1 日から 12 月 31 日までの1年間

集計の対象

国際的に統一された新生物のための分類である国際疾病分類腫瘍学第3版(3. 1版)(厚生労働大臣官房統計情報部)において悪性(性状コード 3)または上皮内(性状コード 2)に分類された腫瘍とその他の政令で定められる疾病 (p12 参照)

2016 年集計のがん登録の精度 (上皮内がんを除く)

- ▶DCI(死亡診断書を契機に登録された症例の割合): 5.2%
- ▶DCO(死亡診断書のみの症例の割合): 3.3%
- ▶MI 比(死亡罹患比): 0.39
- ▶MV(顕微鏡学的に確かめられた症状の割合) 84.5

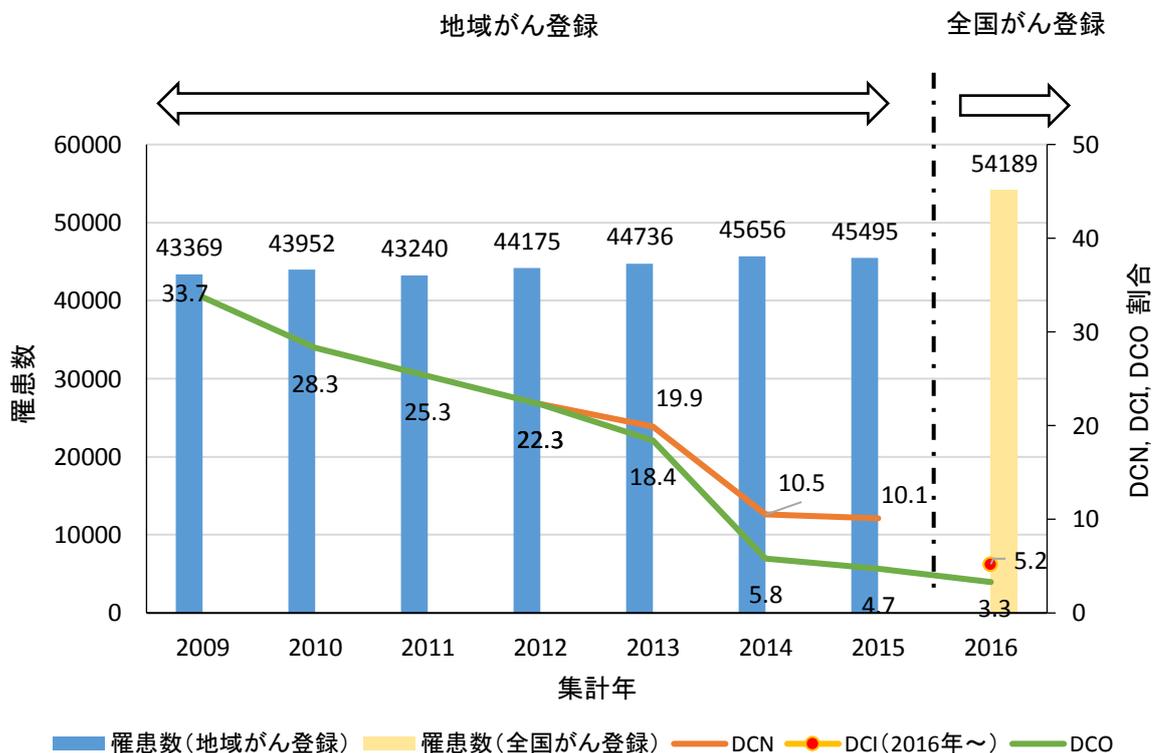


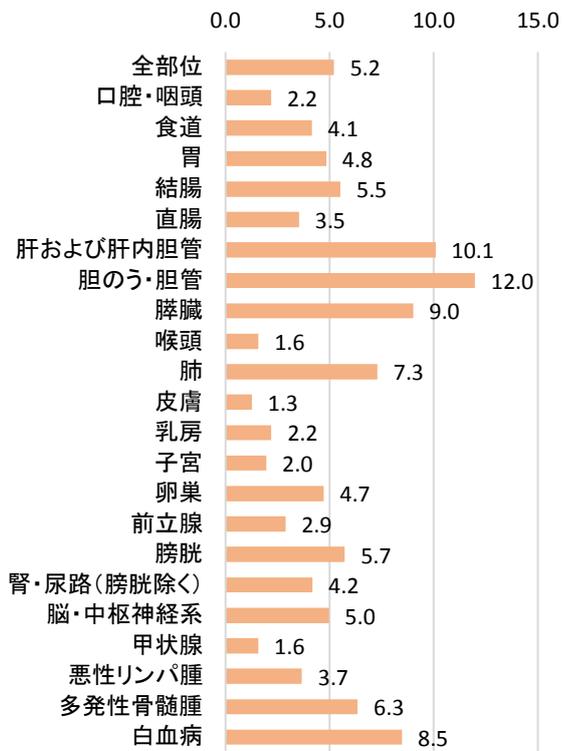
図 5 罹患数および精度指標の推移

1) 罹患数は上皮内がんを含む 2) 精度指標は上皮内がんを除く

2013 年症例からは標準データベースシステムから全国がん登録データベースシステム(国立がん研究センター提供)に移行して登録作業を行っている。

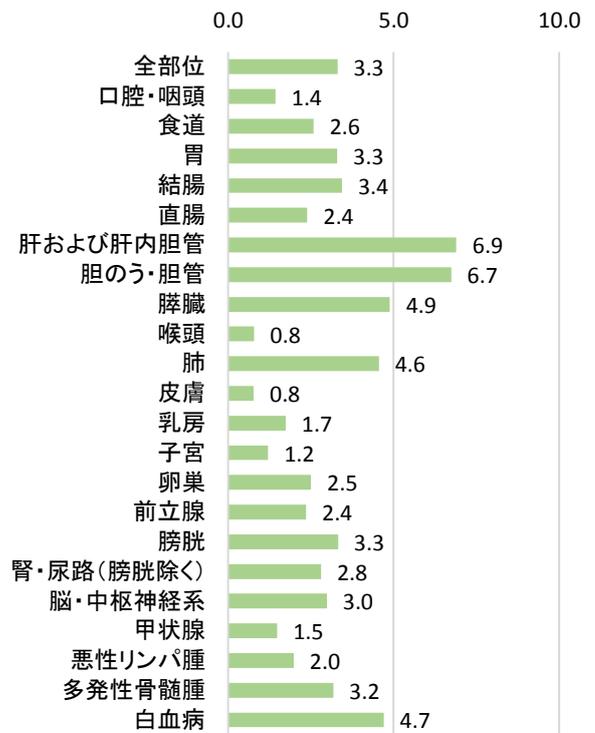
それにより、2012 年以前の症例との同一患者の照合不可、罹患日の定義変更などが生じており、2013 年以降と 2012 年以前の罹患数や精度指標などの比較はできない。

【部位別登録精度】



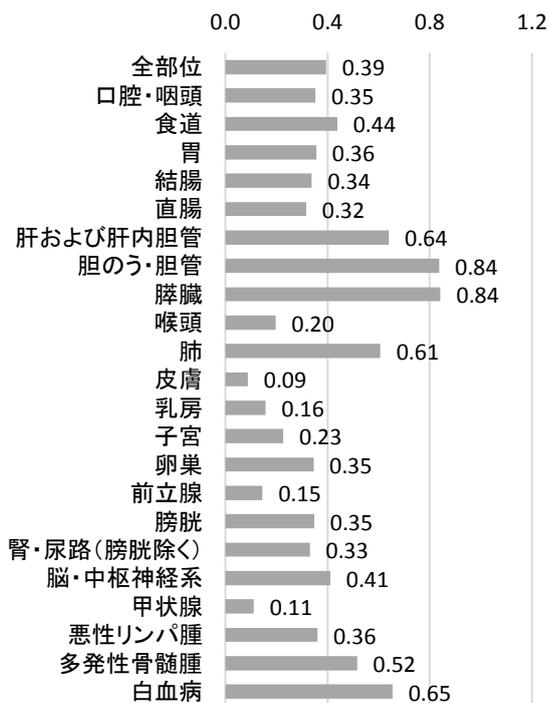
「標準集計表 8-A」より作成

図 6 部位別登録精度(%) : DCI



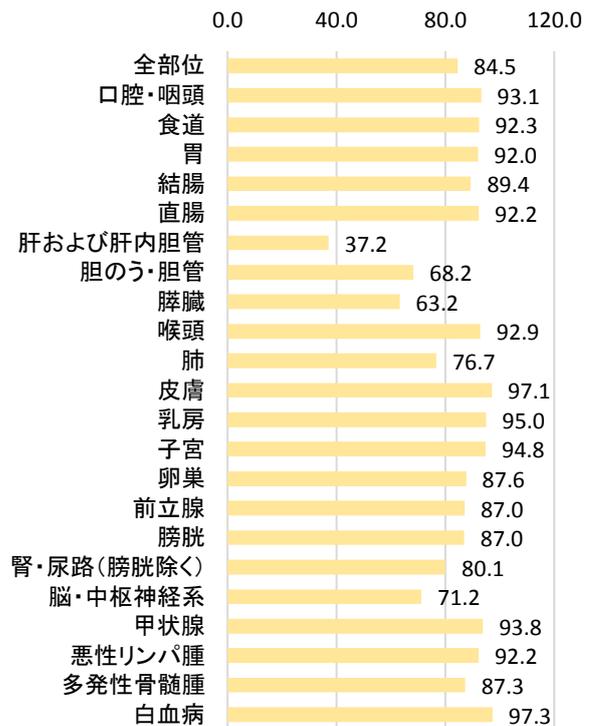
「標準集計表 8-A」より作成

図 7 部位別登録精度(%) : DCO



「標準集計表 8-A」より作成

図 8 部位別登録精度 : MI 比



「標準集計表 8-A」より作成

図 9 部位別登録精度(%) : MV

3. 北海道のがんの罹患の概要

【部位別罹患数】

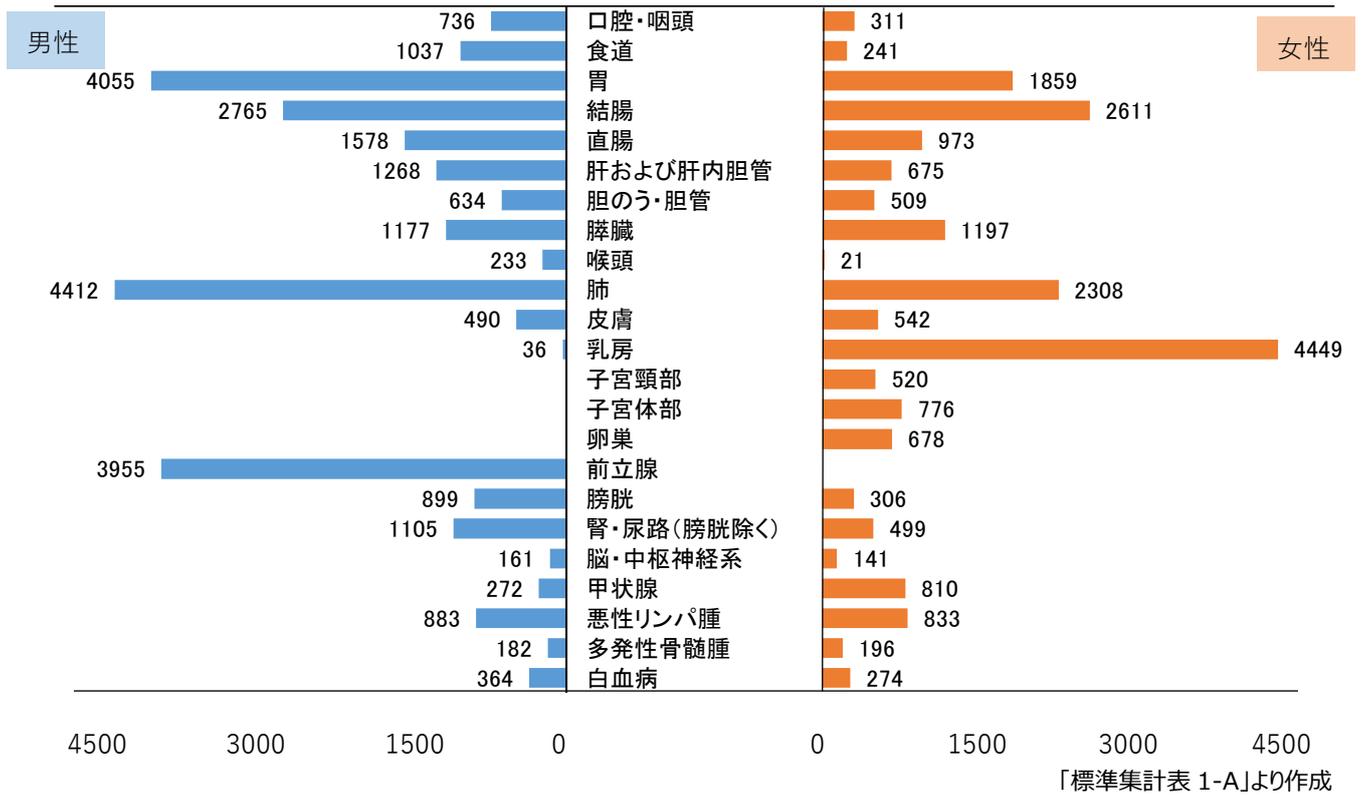


図 10 部位別罹患数：男女別
1) 上皮内がんを除く

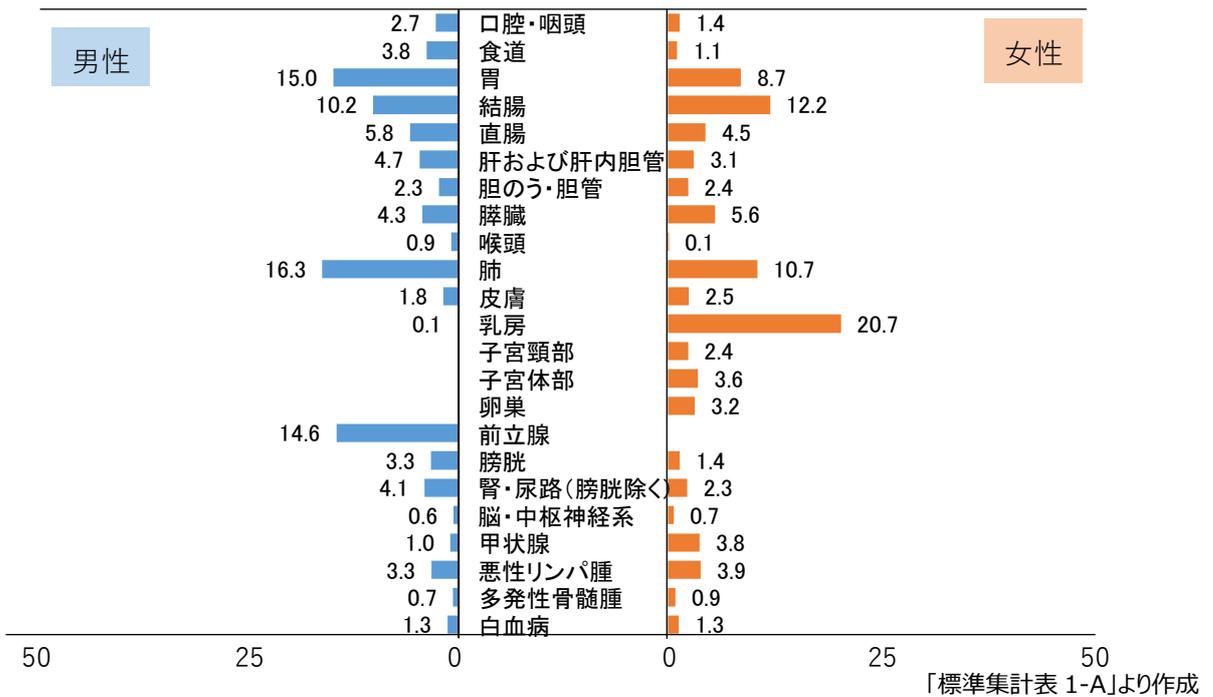


図 11 部位別罹患割合 (%)：男女別
1) 上皮内がんを除く

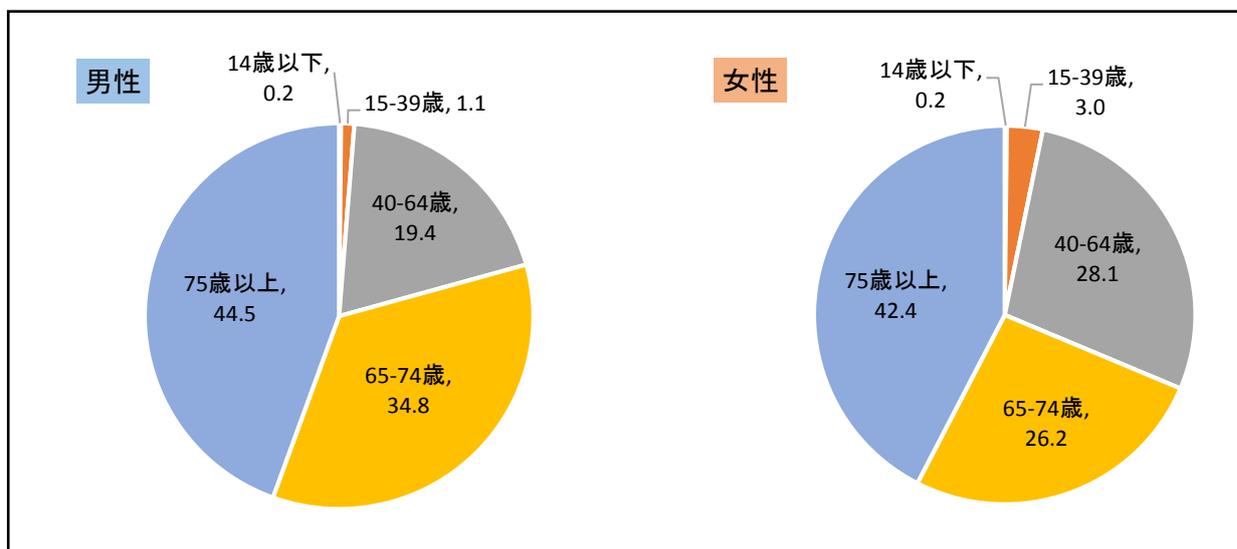
男性では肺がん(16.3%)の罹患数が最も多く、次いで胃がん(15.0%)、前立腺がん(14.6%)の罹患数が多かった。女性では乳がん(20.7%)の罹患数が最も多く、次いで結腸がん(12.2%)、肺がん(10.7%)の罹患数が多かった。

【年齢別に見たがんの罹患】

表 5 年齢階級別がん罹患数（男女別、上皮内がんを除く）

年齢階級	14歳以下	15-39歳	40-64歳	65-74歳	75歳以上	総数
男性	44	298	5,265	9,438	12,050	27,095
女性	37	653	6,041	5,631	9,109	21,471

「標準集計表 2-A」より作成



「標準集計表 2-A」より作成

図 12 年齢階級別罹患割合 (%)

1) 上皮内がんを除く

罹患数は男性の方が多く、男性・女性ともに 75 歳以上の割合 (男性 44.5%、女性 42.4%) が最も多かった。女性では 64 歳以下 (14 歳以下 (0.2%)、15-39 歳 (3.0%)、40-64 歳 (28.1%)) の割合が 3 割を超えている。

【部位別年齢階級別罹患率】

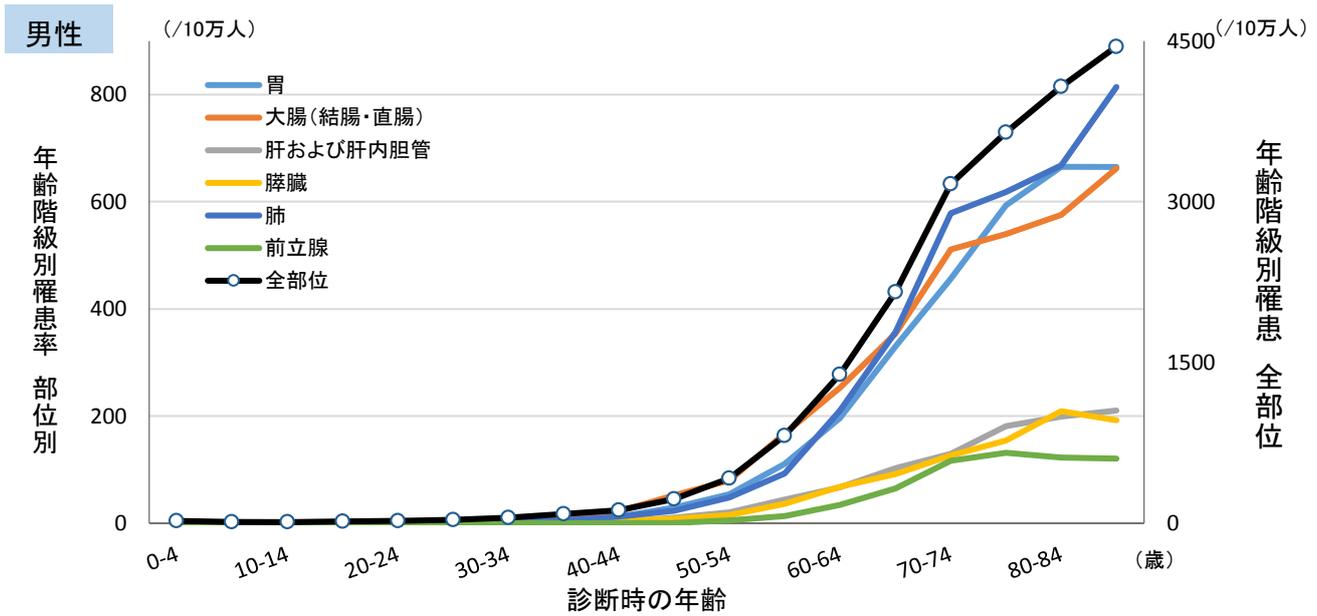


図 13 年齢階級別罹患率：男性

1) 上皮内がんを除く

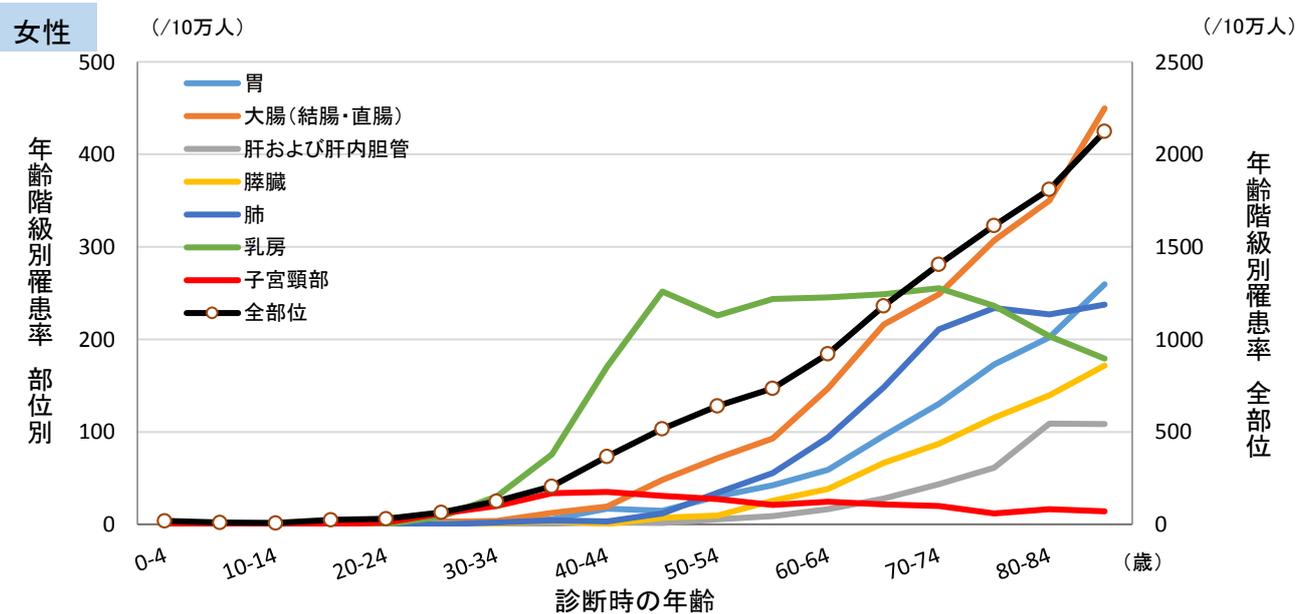


図 14 年齢階級別罹患率：女性

1) 上皮内がんを除く

男性の罹患率は、肺がん及び大腸がんで年齢が高くなるとともに高くなり、85歳以上でも高い傾向が見られた。女性の罹患率は、大腸がんが年齢とともに高い傾向となり、乳がん及び子宮頸がんは若年層で高くなっている。

[全部位（上皮内がんを除く）]

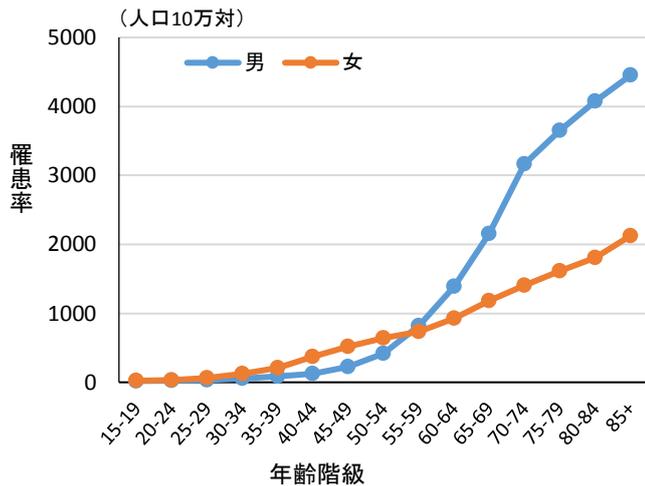


図 15 年齢階級別罹患率：全部位（上皮内を除く）

[全部位（上皮内がんを含む）]

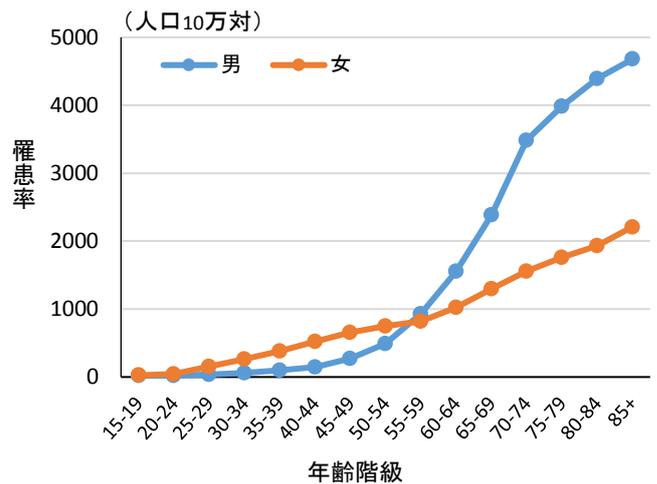


図 16 年齢階級別罹患率：全部位（上皮内を含む）

[胃（上皮内がんを除く）]

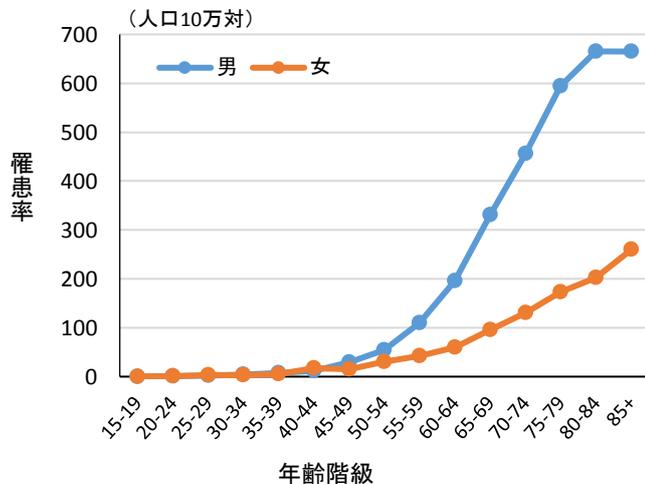


図 17 部位別年齢階級別罹患率：胃

[肝及び肝内胆管（上皮内がんを除く）]

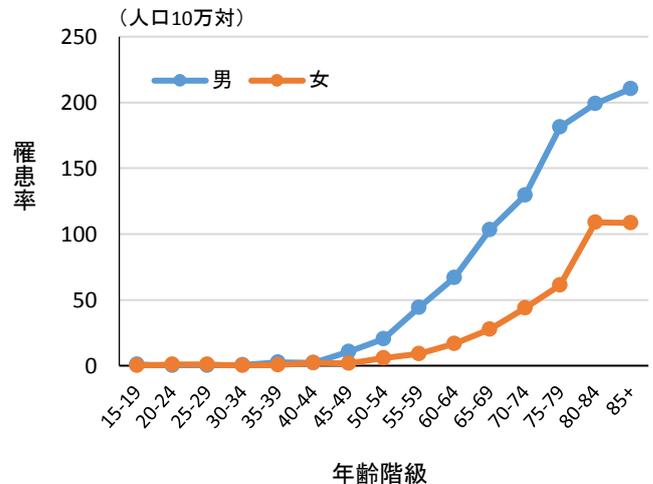


図 18 部位別年齢階級別罹患率：肝及び肝内胆管（上皮内を除く）

[結腸（上皮内がんを除く）]

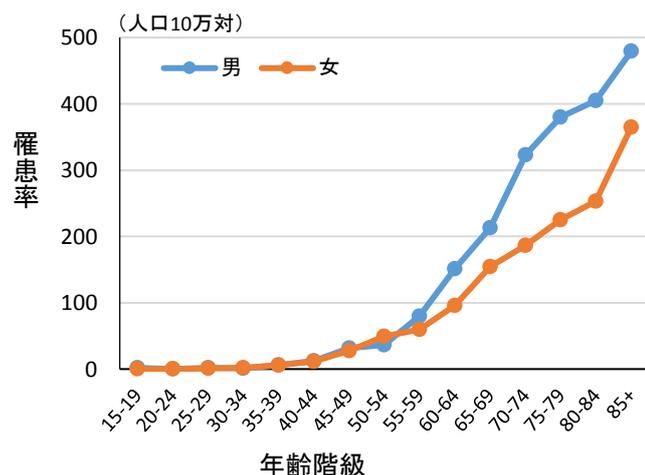


図 19 年齢階級別罹患率：結腸（上皮内を除く）

[結腸（上皮内がんを含む）]

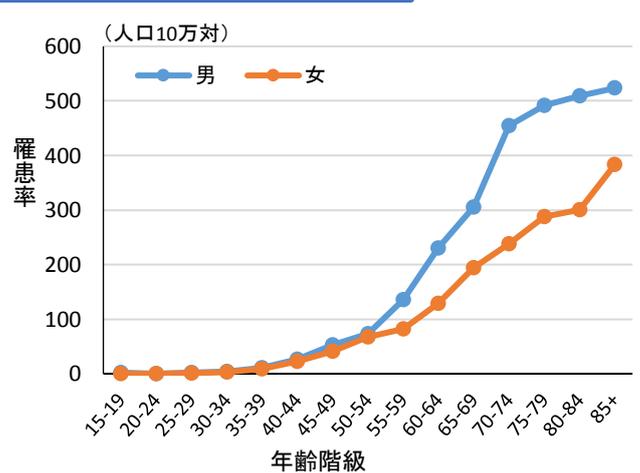


図 20 年齢階級別罹患率：結腸（上皮内を含む）

[直腸（上皮内がんを除く）]

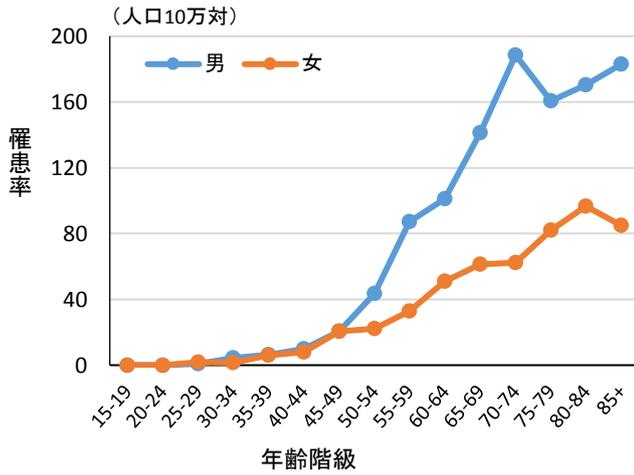


図 21 年齢階級別罹患率：直腸（上皮内を除く）

[直腸（上皮内がんを含む）]

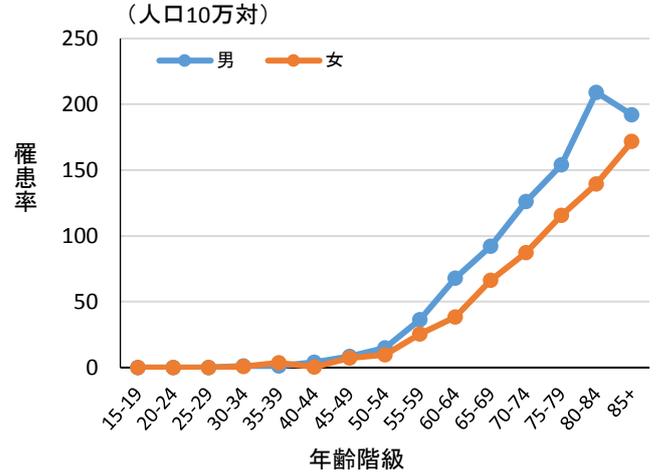


図 22 年齢階級別罹患率：直腸（上皮内を含む）

[肺（上皮内がんを除く）]

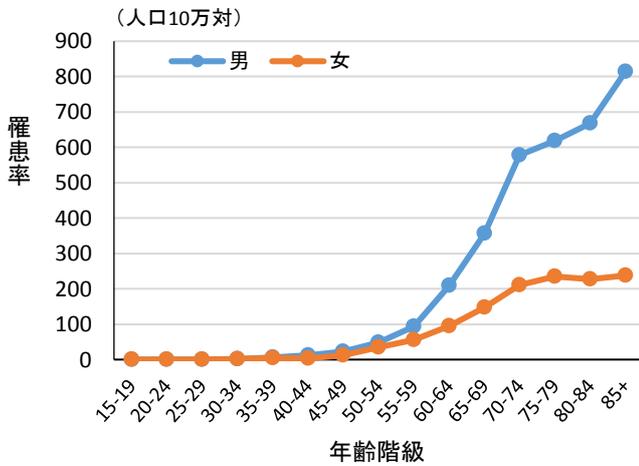


図 23 年齢階級別罹患率：肺（上皮内を除く）

[肺（上皮内がんを含む）]

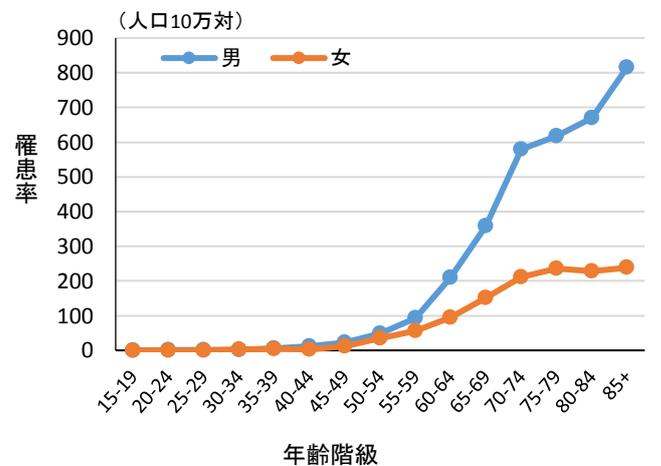


図 24 年齢階級別罹患率：肺（上皮内を含む）

[膵（上皮内がんを除く）]

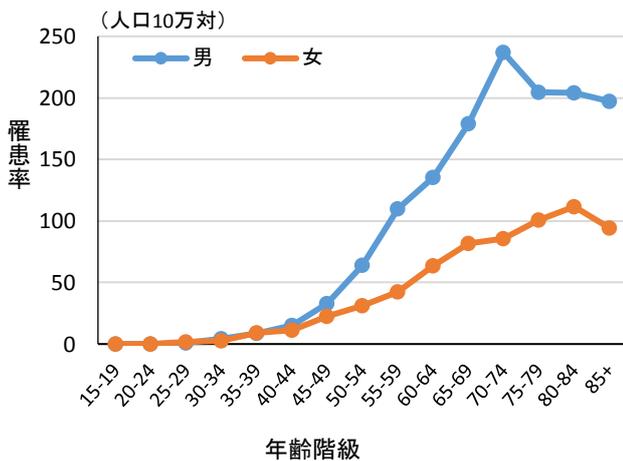


図 25 年齢階級別罹患率：膵（上皮内を除く）

[乳房]

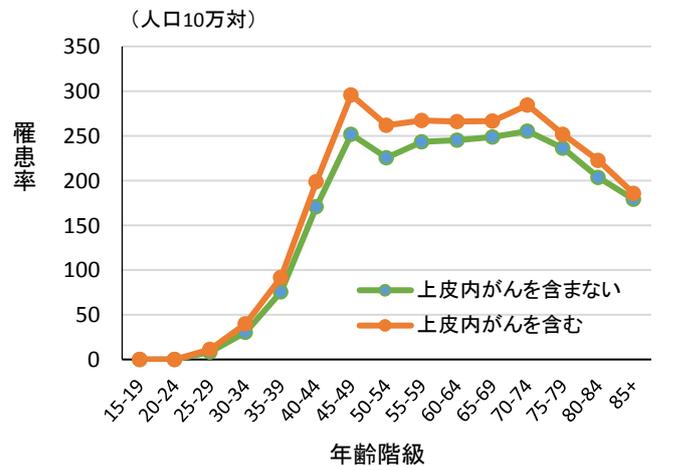


図 26 年齢階級別罹患率：乳房

[子宮頸部]

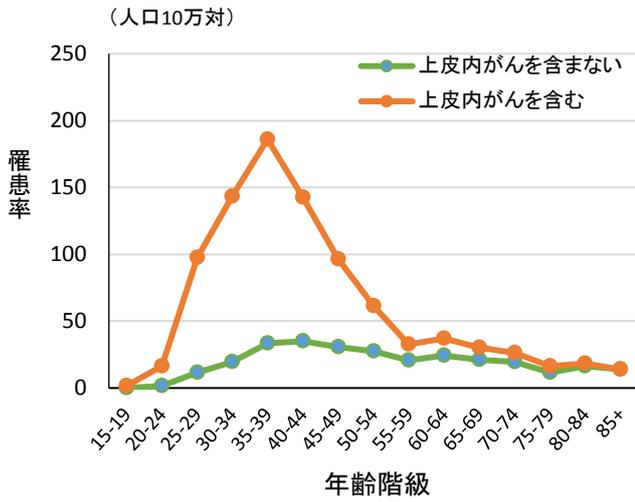


図 27 年齢階級別罹患率：子宮頸部

[前立腺（上皮内がんを除く）]

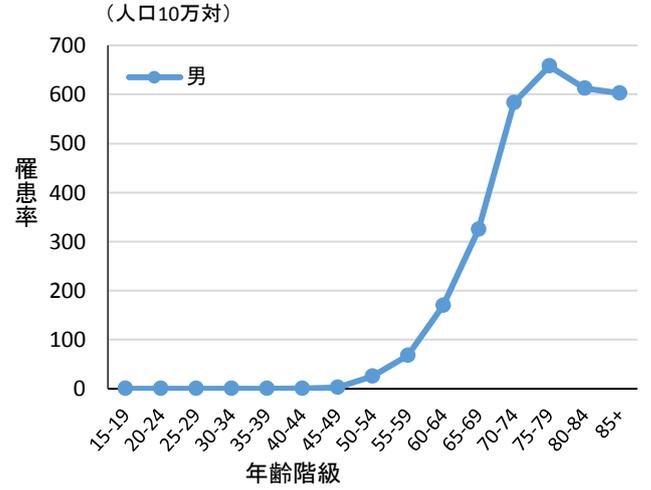
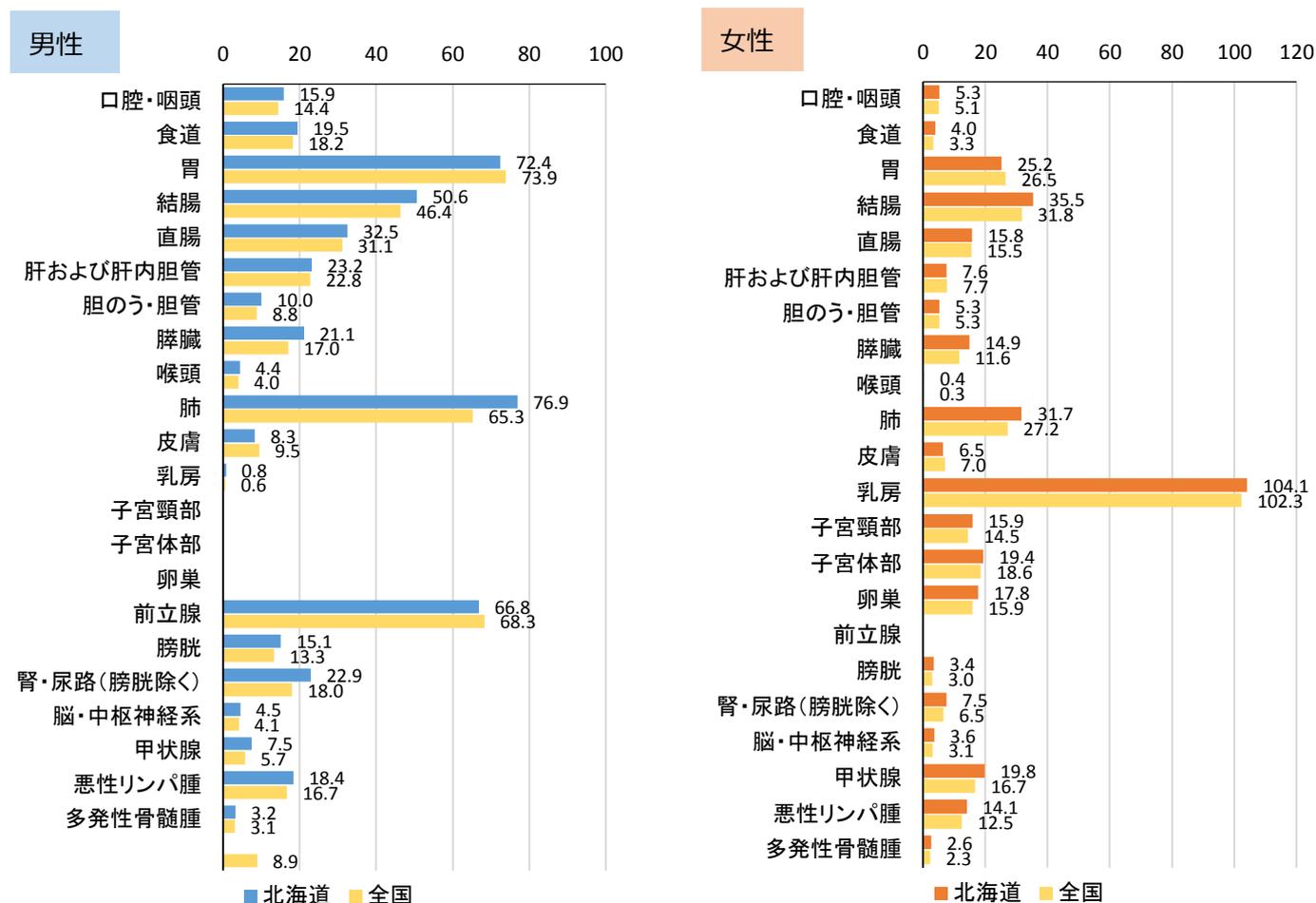


図 28 年齢階級別罹患率：前立腺（上皮内を除く）

4. 北海道のがん罹患の特徴

【部位別年齢調整罹患率（人口10万対）】



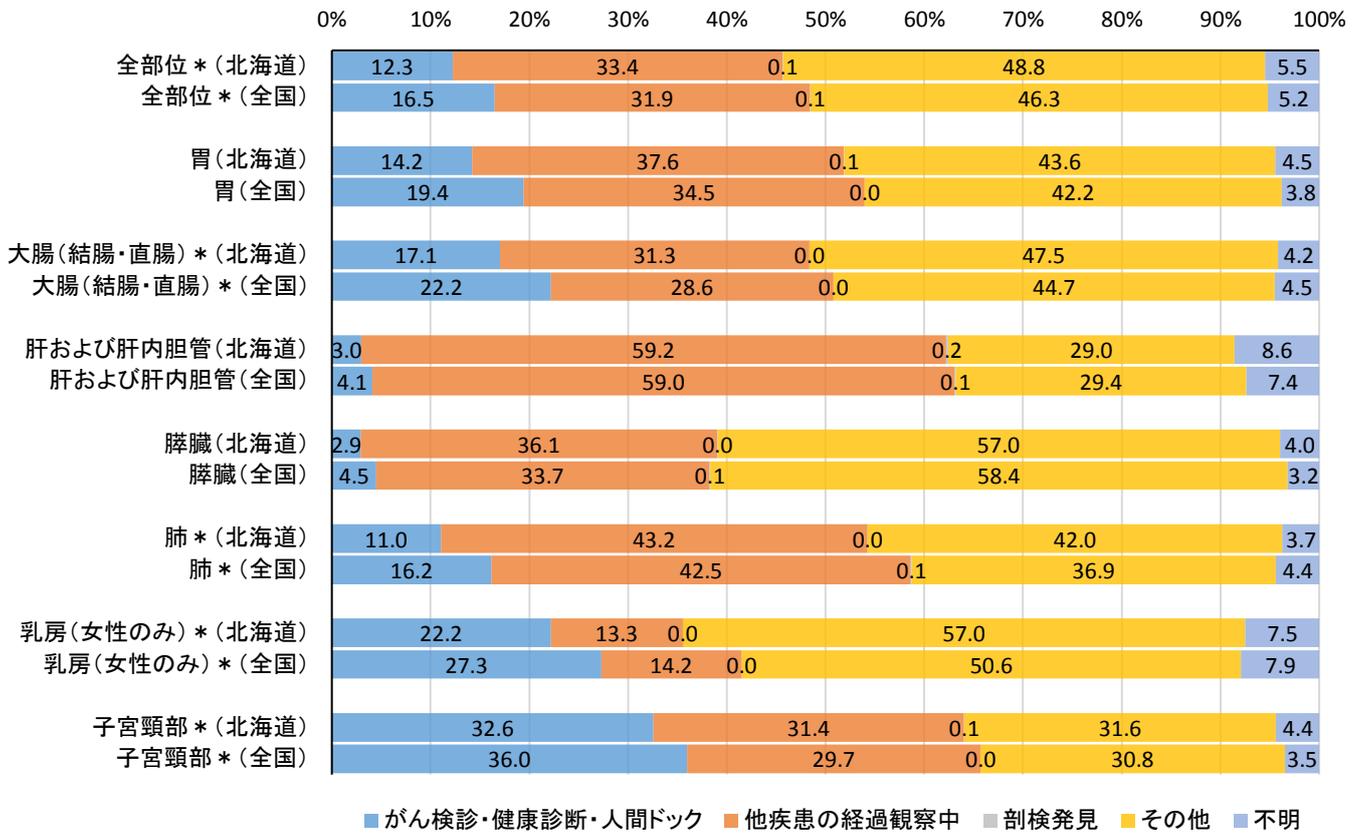
北海道値：「標準集計表1-A」、全国値：厚生労働省健康局がん・疾病対策課「平成28年全国がん登録 罹患数・率 報告」より作成

図29 部位別年齢調整罹患率（人口10万対）：部位別

1) 上皮内がんを除く

全国の数値と比べ、男性では肺がんの罹患率がかなり高く、女性でも全国と比較し肺がんの罹患率が高い傾向であった。男性女性ともに全国と比較し結腸がん、膵がんの罹患率が高くなっている。

【発見経緯】

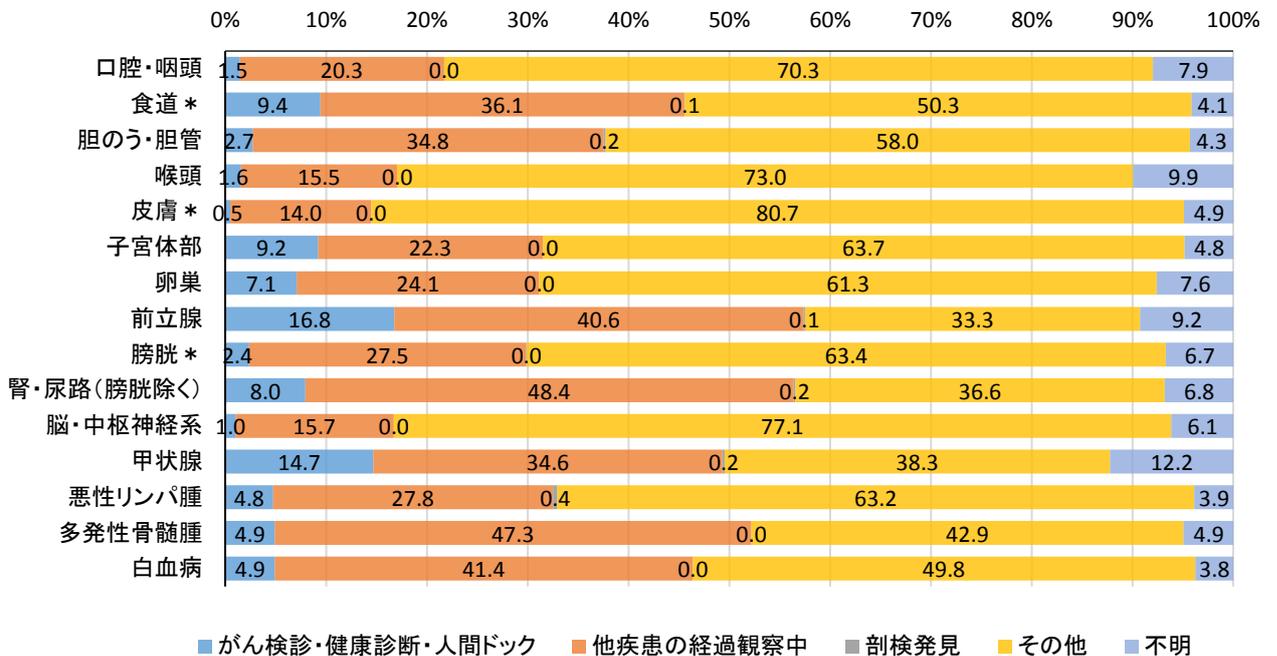


北海道値：「標準集計表 4-B」、全国値：厚生労働省健康局がん・疾病対策課「平成 28 年全国がん登録 罹患数・率 報告」より作成

図 30 主要部位別発見経緯 (%)：対象はDCOを除く届出患者

- 1) *は上皮内がんを含む 2) 胃の局限には粘膜内がんを含む 3) 結腸・直腸の上皮内がんは粘膜と同義
- 4) 子宮頸部の上皮内がんは CINIII を含む (ただし高度異形成と明示されているものは含まない)

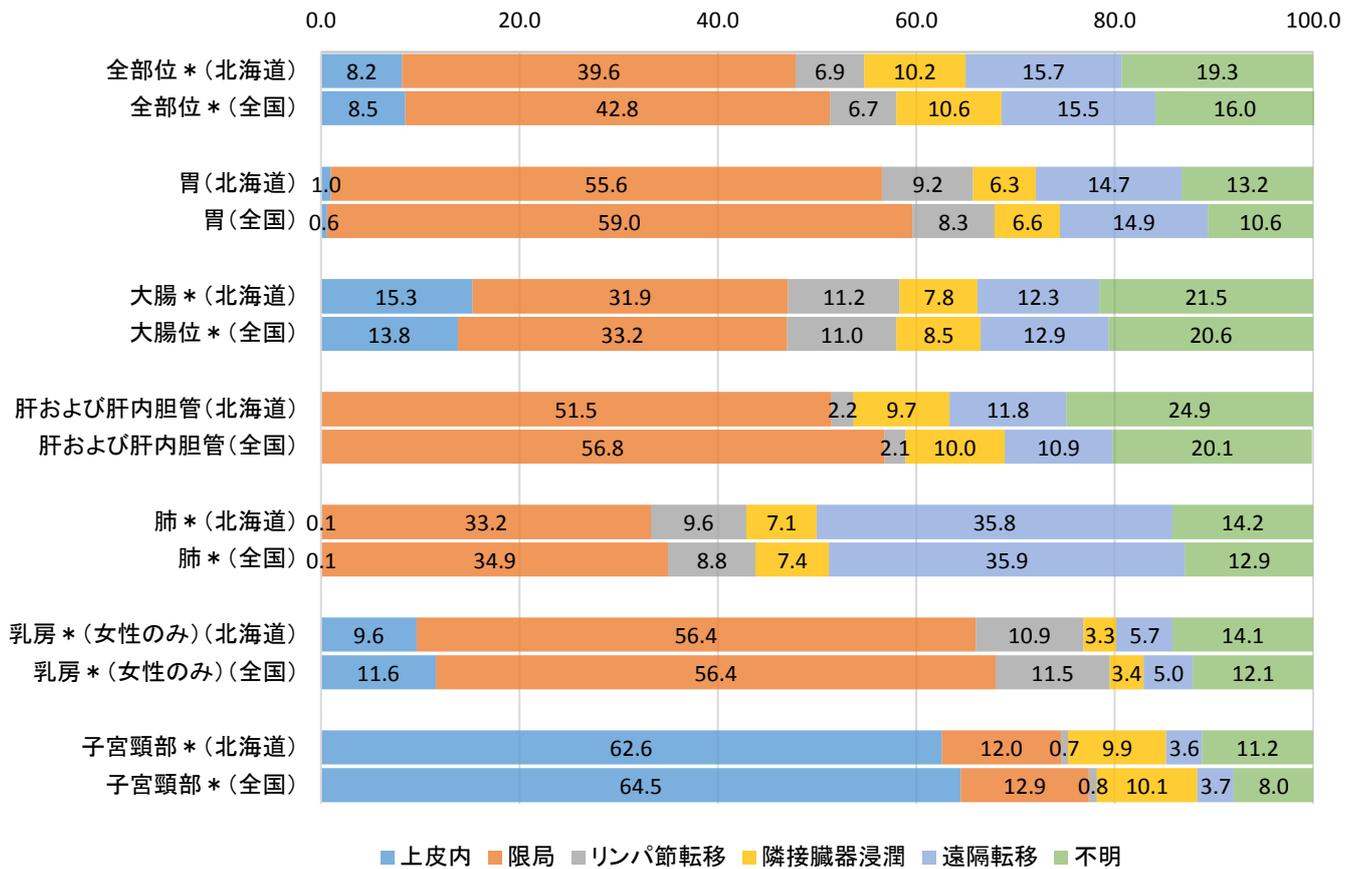
発見経緯は全国と比べ、「がん検診・健康診断・人間ドック」の割合が低い傾向であった。



「標準集計表 4-A,B」より作成

図 31 部位別発見経緯 (%)：対象はDCOを除く届出患者 (*は上皮内がんを含む)

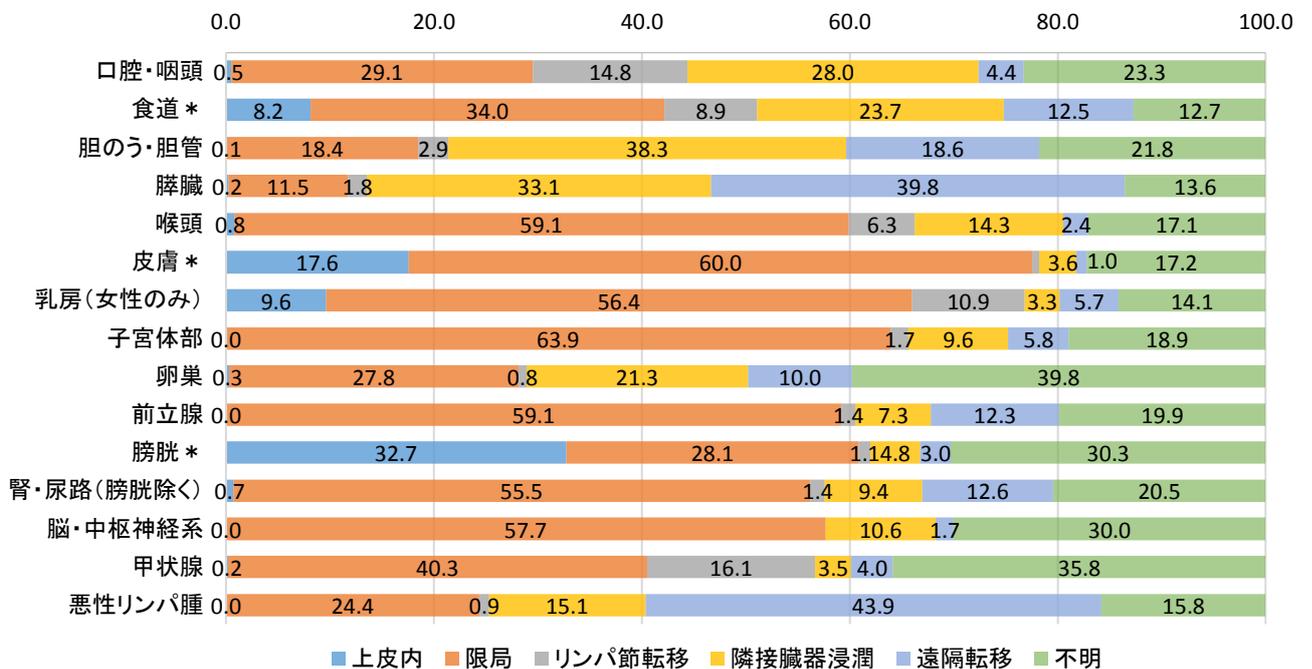
【発見時の進展度】



北海道値：「標準集計表 5-2-A,B」、全国値：厚生労働省健康局がん・疾病対策課「平成 28 年全国がん登録 罹患数・率 報告」より作成

図 32 主要部位別進展度・治療前 (%)：対象はD C Oを除く届出患者

- 1) * は上皮内がんを含む 2) 胃の限局には粘膜内がんを含む 3) 結腸・直腸の上皮内がんは粘膜と同義
- 4) 子宮頸部の上皮内がんは CINIII を含む (ただし高度異形成と明示されているものは含まない)

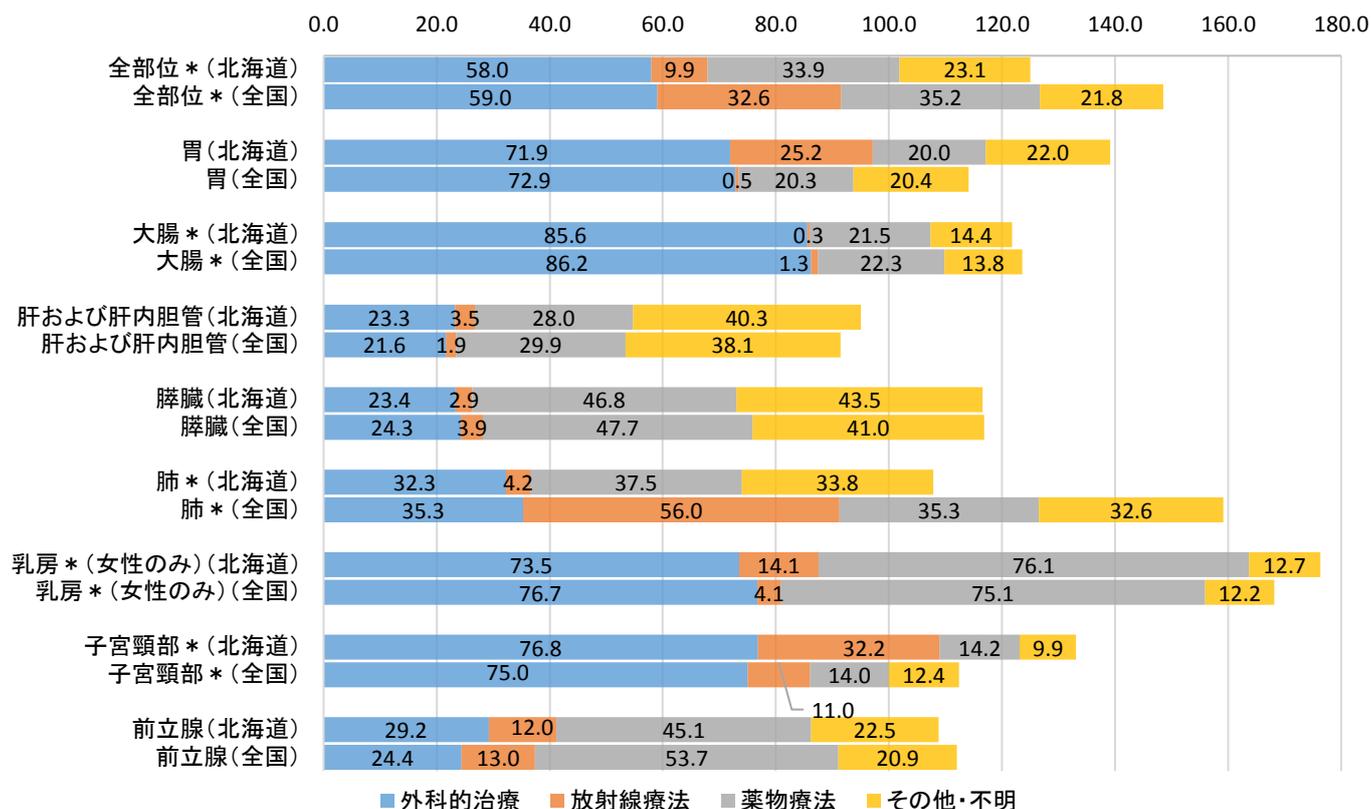


「標準集計 5-2-A,B」より作成

図 33 部位別進展度・治療前 (%)：対象はD C Oを除く届出患者 (* は上皮内がんを含む)

【初回治療の方法】

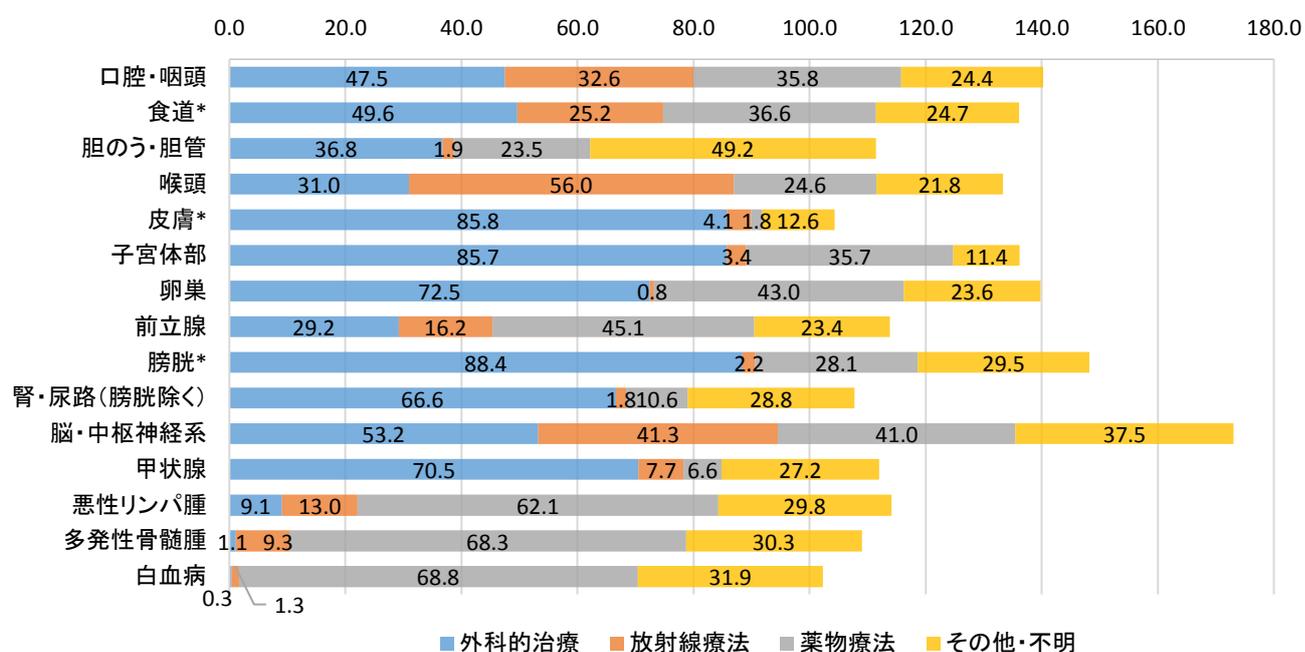
部位別初回治療内容



北海道値：「標準集計表6-A, B」、全国値：厚生労働省健康局がん・疾病対策課「平成28年全国がん登録 罹患数・率 報告」より作成

図34 主要部位別初回治療内容 (%)：対象はDCOを除く届出患者

- 1) *は上皮内がんを含む 2) 複数の治療法を同時に採用することが多いため計は100%にはならない
 3) 観血的治療には、外科的、鏡視下、内視鏡的手術を含む 4) 薬物療法には、化学療法、免疫療法、内分泌療法を含む

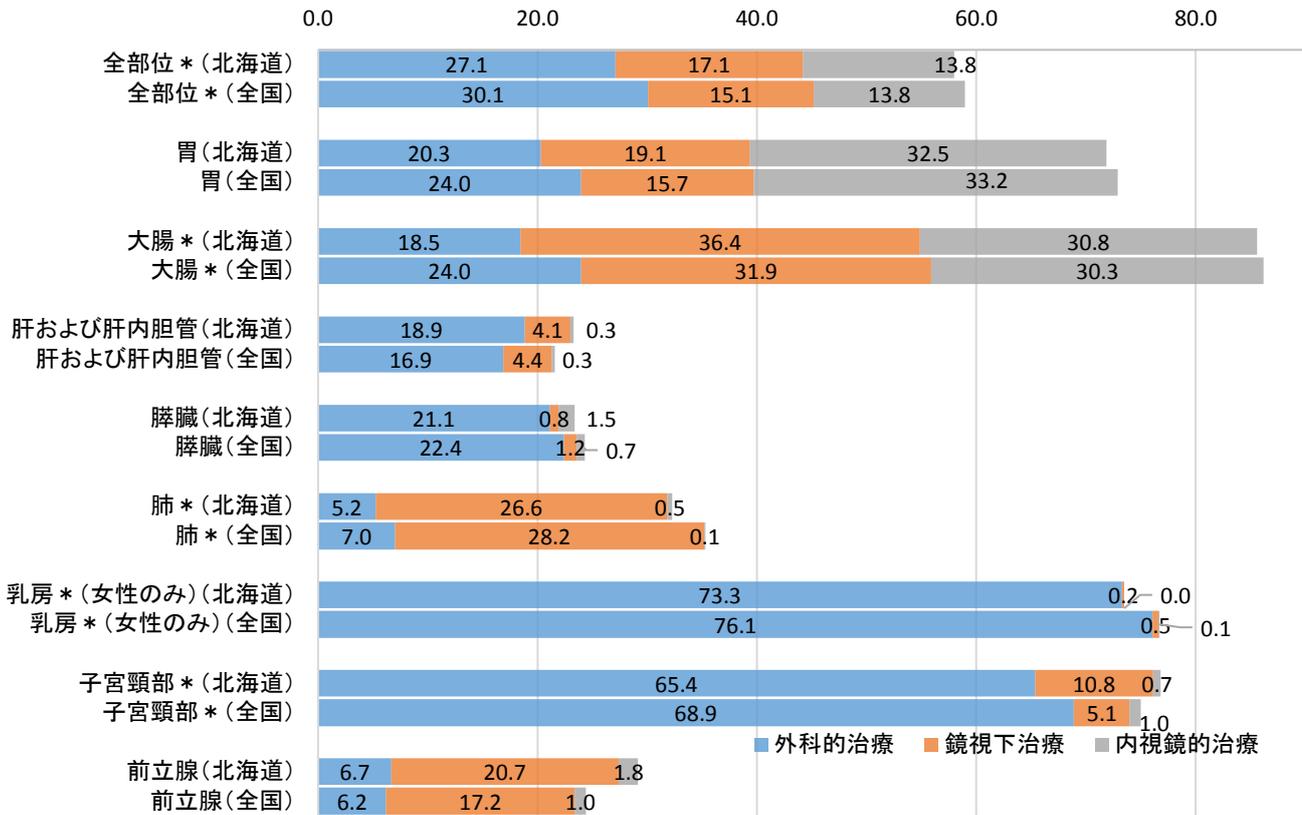


「標準集計表6-A, B」より作成

図35 部位別初回治療内容 (%)：対象は国内DCOを除く届出患者

- 1) *は上皮内がんを含む 2) 複数の治療法を同時に採用することが多いため計は100%にはならない
 3) 観血的治療には、外科的、鏡視下、内視鏡的手術を含む 4) 薬物療法には、化学療法、免疫療法、内分泌療法を含む

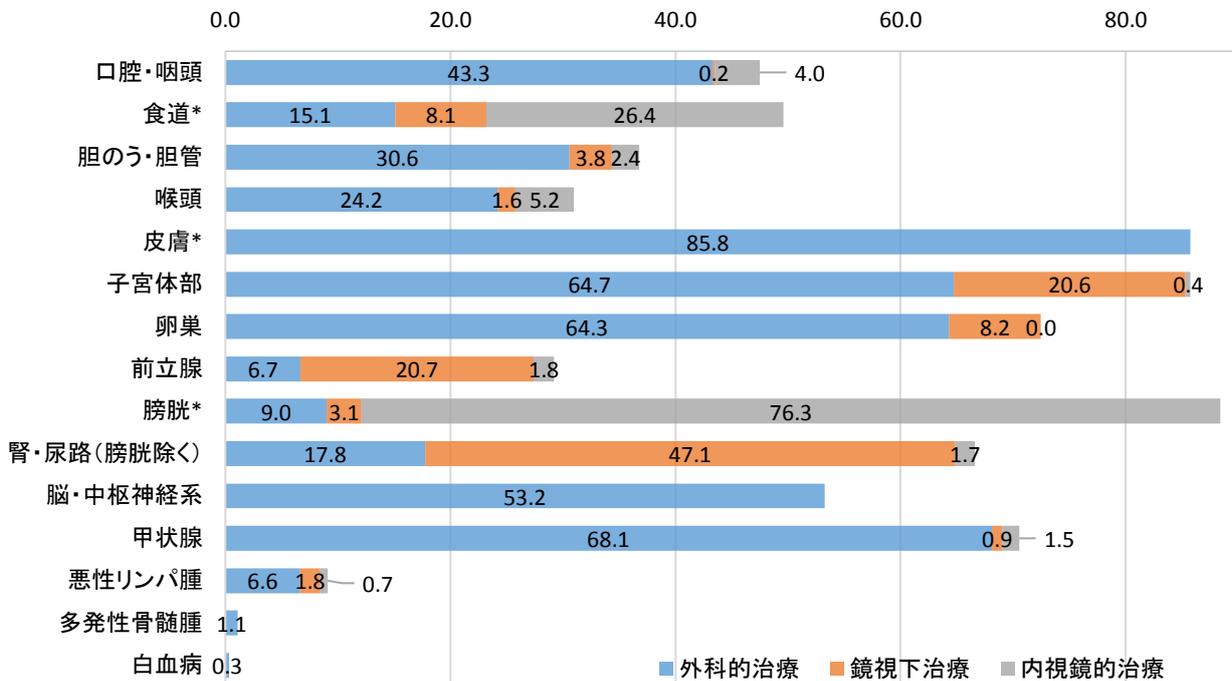
初回治療における観血的治療内訳



北海道値：「標準集計表 6 - A, B」、全国値：厚生労働省健康局がん・疾病対策課「平成 28 年全国がん登録 罹患数・率 報告」より作成

図 36 主要部位別初回治療における観血的治療内訳 (%)：対象は DCO を除く届出患者

1) *は上皮内がんを含む

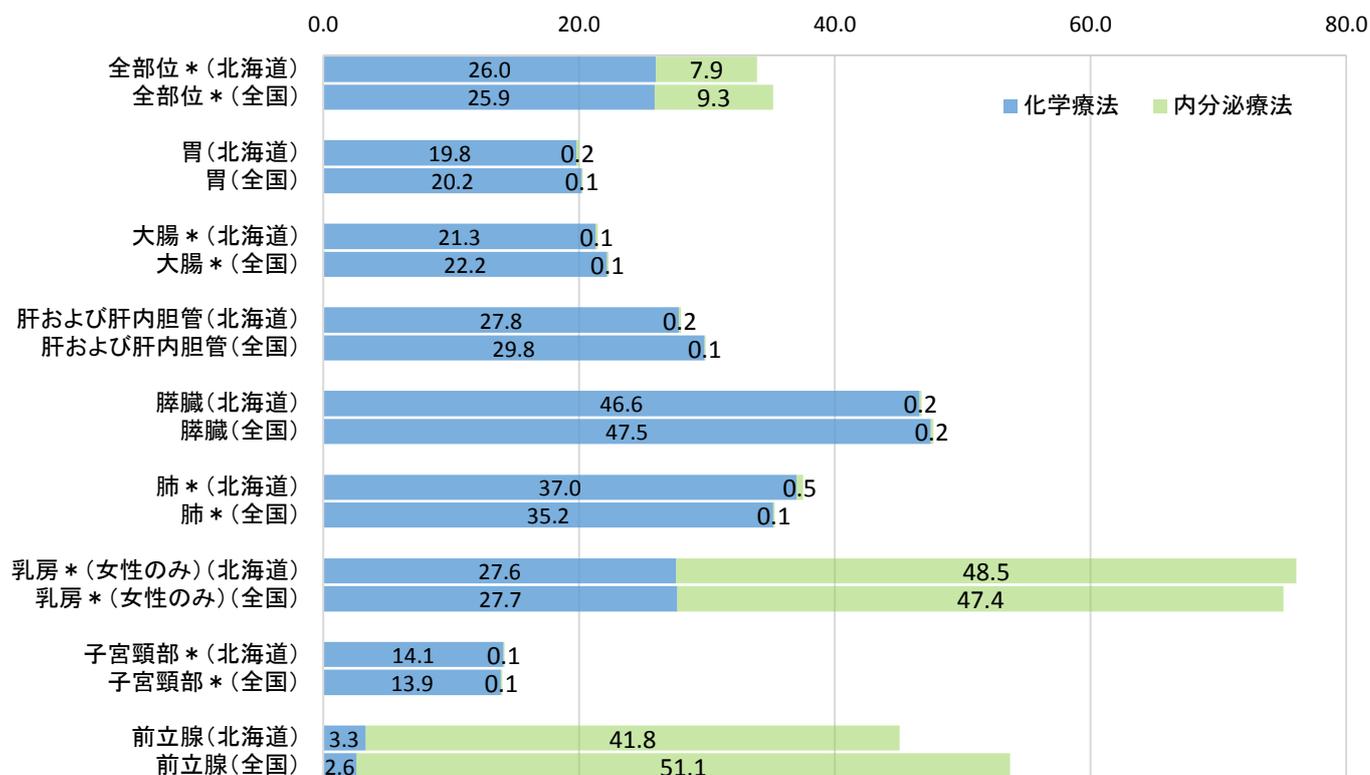


「標準集計表 6 - A, B」より作成

図 37 初回治療における観血的治療内訳 (%)：対象は国内 DCO を除く届出患者

1) *は上皮内がんを含む

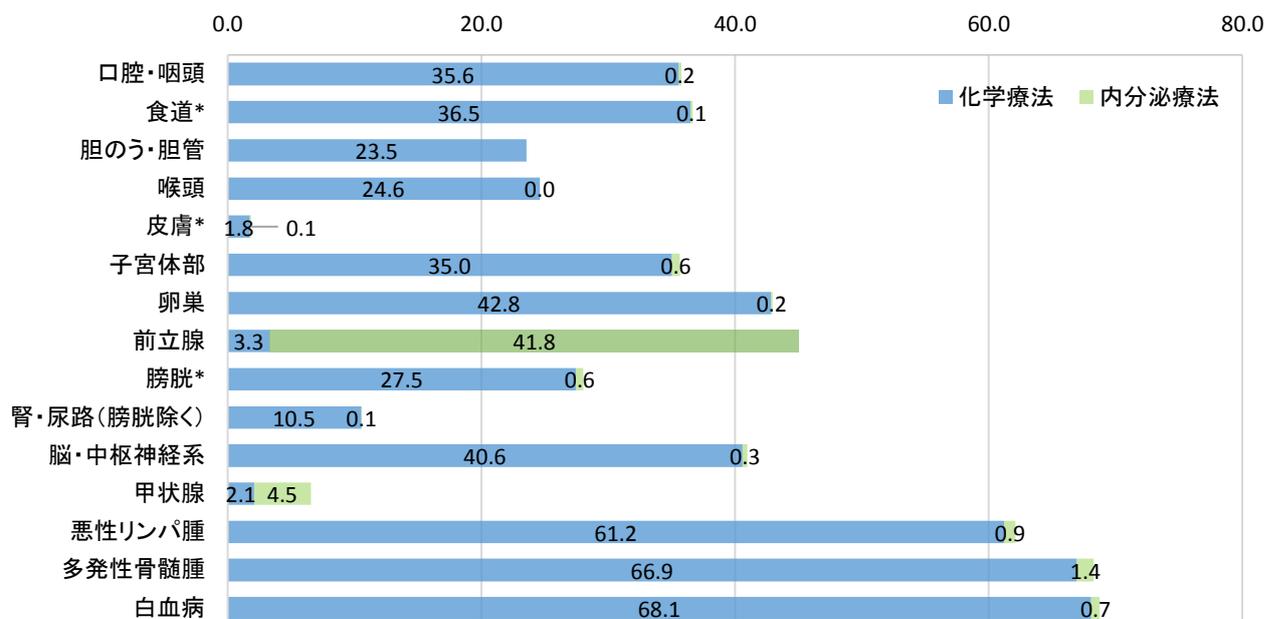
初回治療における薬物療法内訳



北海道値：「標準集計表 5 - A, B」、全国値：厚生労働省健康局がん・疾病対策課「平成 28 年全国がん登録 罹患数・率 報告」より作成

図 38 初回治療における薬物療法内訳 (%)：対象は国内 DCO を除く届出患者

1) *は上皮内がんを含む



「標準集計表 6 - A, B」より作成

図 39 初回治療における薬物療法内訳 (%)：対象は国内 DCO を除く届出患者

1) *は上皮内がんを含む